

平成3年10月16日

区立図書館3館がオンラインで結ばれる

残る4館は、来年4月にオンライン化予定

16日、豊島区立中央図書館(東池袋5-39)がコンピュータ化され、すでにこの4月から稼働している池袋図書館(池袋3-29)及び、雑司が谷図書館(雑司が谷3-1)のコンピュータとオンラインで結ばれた。

オンライン化により、貸出し冊数の大幅増(1人1回3冊から10冊へ)、貸出し・返却手続きの簡素化はもちろん、3館には、利用者が自由に使える検索用端末機が設置されており、図書32万冊、雑誌300種類、CD3千タイトルの即時検索も可能になった。(貸出し期間は従来とおり15日以内・CDは中央館でのみ貸出し)

貸出し利用登録についても極めて簡単で、3館の内いずれかの図書館カウンターで、運転免許証・学生証・外国人登録証など住所を確認できるものを持参の上、氏名・生年月日・性別・住所・電話を登録すると、図書館利用カードが即時発行されるシステム。この図書館利用カードは、オンライン化されている区立図書館で共通に使用できる。

また、オンライン化に伴うプライバシー保護についても、区の住民情報システムとの非接続、貸出し記録の返却時消去など万全を期している。

来年4月には、残る地域図書館4館(駒込・巣鴨・目白・千早)もオンライン化される予定で、これが実現すれば、合計57万冊の蔵書をもつ図書館ネットワークが誕生する。

問合せ 中央図書館 電算開発担当